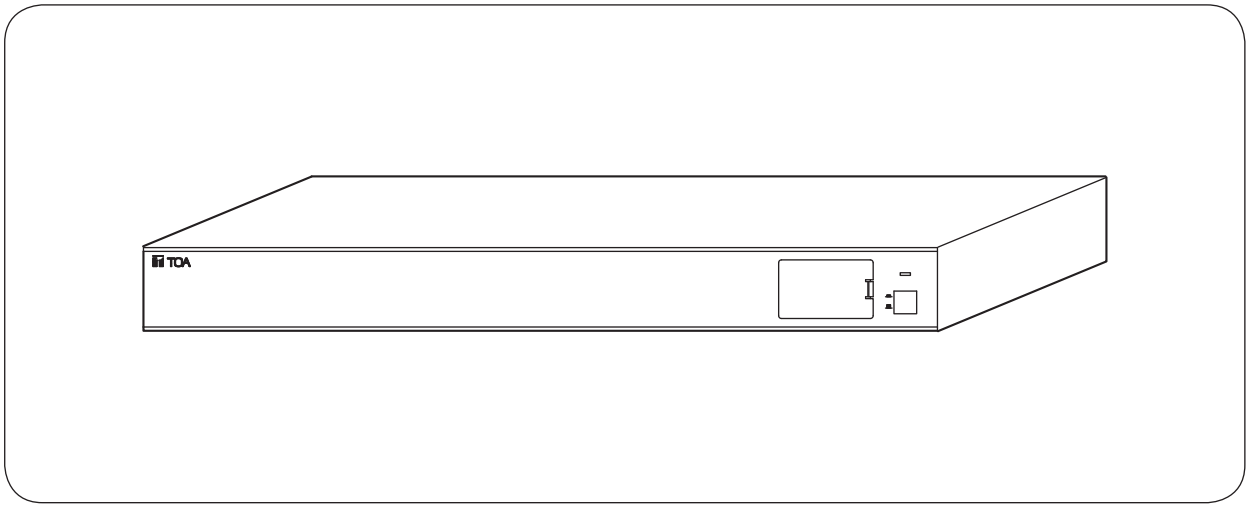
TOA

取扱説明書

ワイヤレスアンテナ混合分配器（ダイバシティチューナー用）

WD-1810



目　次

安全上のご注意 2

概　要 3

使用上のご注意 3

各部の名称とはたらき 4
- 前面 4
- 後面 4

接続例 5
- アナログワイヤレスシステムを使用する場合 5
- デジタルワイヤレスシステムを使用する場合 6

アンテナアッテネータースイッチについて ... 7

ラックへの取り付けかた 7

仕　様 8
- 付属品 8

このたびは、TOA ワイヤレスアンテナ混合分配器（ダイバシティチューナー用）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA株式会社

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき

電源プラグを抜け

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグやアンテナ線にはさわらないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

工事は販売店に相談する

アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
適切な工事を行わないと、アンテナが倒れて、感電・けがの原因となることがあります。

強　制

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。

強　制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

概　要

800 MHz 帯 B 型シンセサイザー方式ダイバシティワイヤレスチューナー用の混合分配器です。
800 MHz 帯ダイバシティワイヤレスチューナー WT-1822、WT-1824、WT-D1802、WT-D1804 の任意の組み合わせで合計 4 台まで接続できる据置型で、2 アンテナ入力・4 分配出力を 2 系統備えています。
アンテナごとに混信妨害を軽減させることのできるアンテナアッテネーター機能を備えています。

使用上のご注意

- 付属の電源コードは、本機専用品です。本機以外の機器には使用しないでください。
- 本機、受信アンテナ、およびアンテナの接続ケーブルは、蛍光灯、デジタル機器、パソコンなど高周波雑音を発生する機器からできるだけ離して設置してください。
- 受信アンテナは、鉄骨やロッカーなど金属物の近くを避け、壁面から 30 cm 以上離してください。
- 部屋の構造や大きさなどによりますが、ダイバシティの効果を得るために 2 本のアンテナは 3 m 以上離して設置してください。
- ワイヤレスマイクと受信アンテナを近づけ過ぎると、誤動作や雑音を発生する恐れがあります。ワイヤレスマイクと受信アンテナの距離は、2 m 以上離して使用してください。
- アンテナケーブルが長くなる場合は、高周波損失（ケーブルロス）を補うため、別売のアンテナブースター YW-1000 を使用してください。

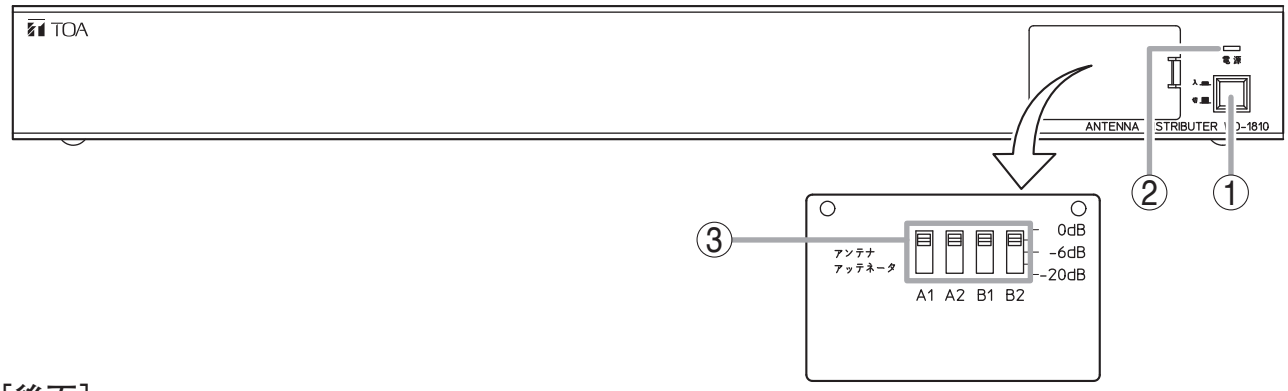
［ケーブル長の目安］

同軸ケーブルの種類	ブースター付きアンテナ単独使用時	YW-1000 使用時	
		1 台	2 台
7C-FB（低損失型）	20 ～ 70 m	80 ～ 140 m	200 m まで
5C-FB（低損失型）	10 ～ 50 m	60 ～ 100 m	150 m まで

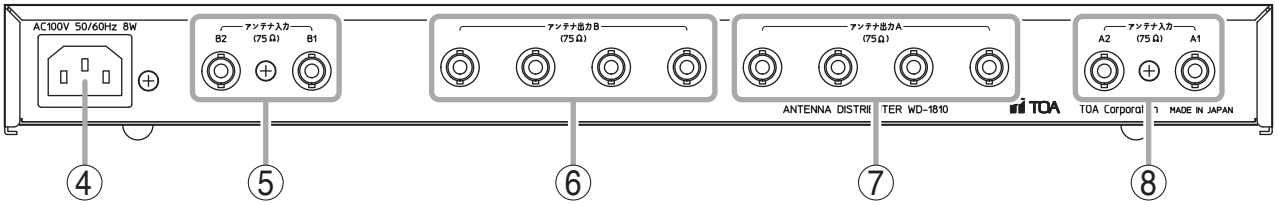
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

各部の名称とはたらき

［前面］



［後面］



1. 電源スイッチ
押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

2. 電源表示灯
電源が入ると点灯します。

3. アンテナアッテネータースイッチ
各アンテナごとに感度を設定でき、近接使用時の混信を軽減させます。（☞ P. 7）

4. AC インレット
AC100 V、50/60 Hz。
付属の電源コード（2 m）を接続します。

5. B アンテナ入力コネクター
BNC ジャック、75 Ω。
ワイヤレスアンテナを接続します。
アンテナに DC 電源を供給します。
（DC9 V、最大 65 mA）
アンテナブースター YW-1000（別売品）を合計 3 台まで接続できます。ただし、各コネクターに直列接続できるのは 2 台までです。（最大接続時には、B1 に 2 台で B2 に 1 台、または B1 に 1 台で B2 に 2 台となります。）

ご注意
アンテナを接続しないコネクターに終端抵抗を接続しないでください。アンテナに供給する電源がショートします。

6. B アンテナ出力コネクター
BNC ジャック、75 Ω。
別売のダイバシティワイヤレスチューナー WT-1822、WT-1824、WT-D1802、または WT-D1804 に接続します。

メ　モ
アンテナを接続しないコネクターに終端抵抗を接続する必要はありません。

7. A アンテナ出力コネクター
BNC ジャック、75 Ω。
別売のダイバシティワイヤレスチューナー WT-1822、WT-1824、WT-D1802、または WT-D1804 に接続します。

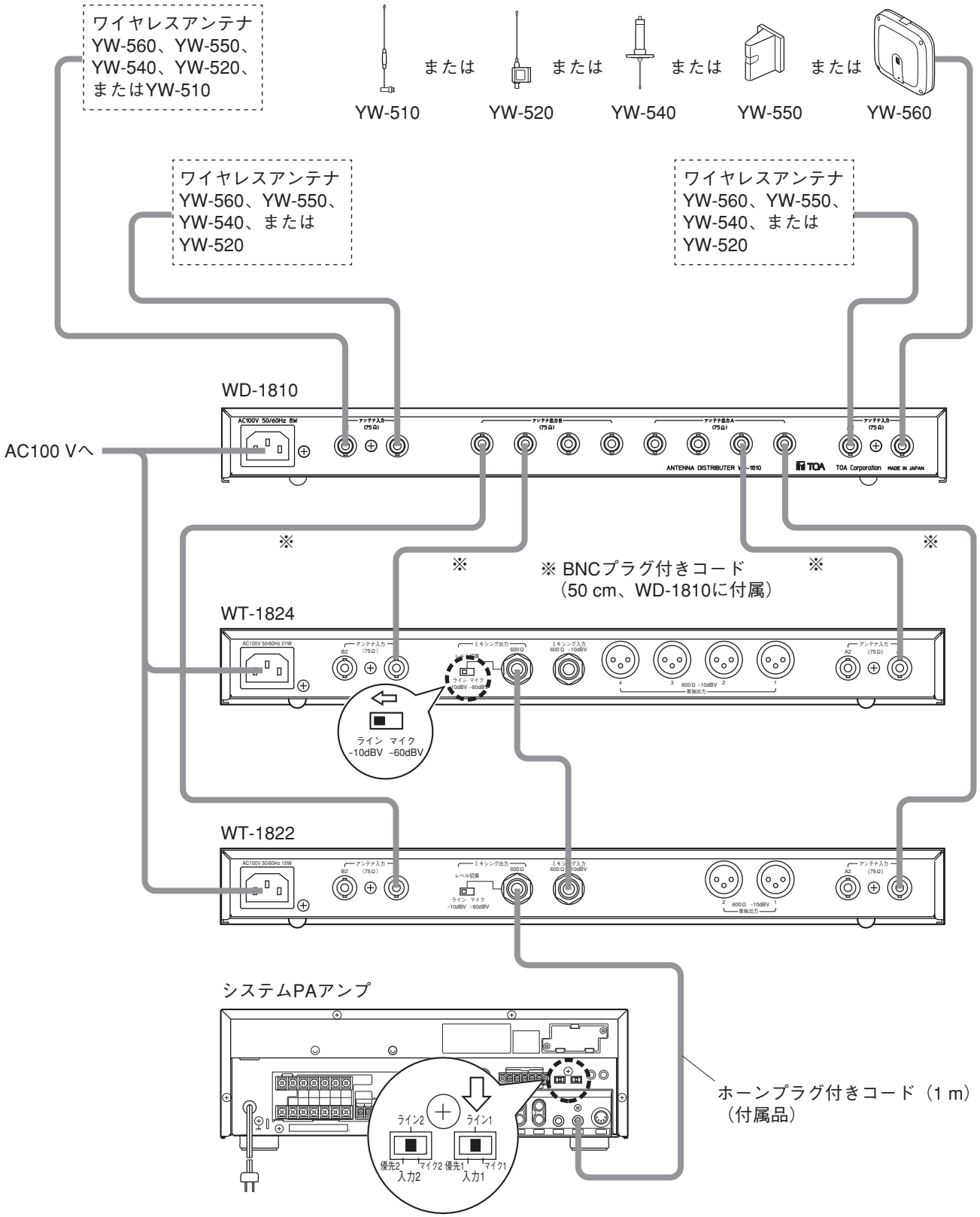
メ　モ
アンテナを接続しないコネクターに終端抵抗を接続する必要はありません。

8. A アンテナ入力コネクター
BNC ジャック、75 Ω。
ワイヤレスアンテナを接続します。
アンテナに DC 電源を供給します。
（DC9 V、最大 65 mA）
アンテナブースター YW-1000（別売品）を合計 3 台まで接続できます。ただし、各コネクターに直列接続できるのは 2 台までです。（最大接続時には、A1 に 2 台で A2 に 1 台、または A1 に 1 台で A2 に 2 台となります。）

ご注意
アンテナを接続しないコネクターに終端抵抗を接続しないでください。アンテナに供給する電源がショートします。

接続例

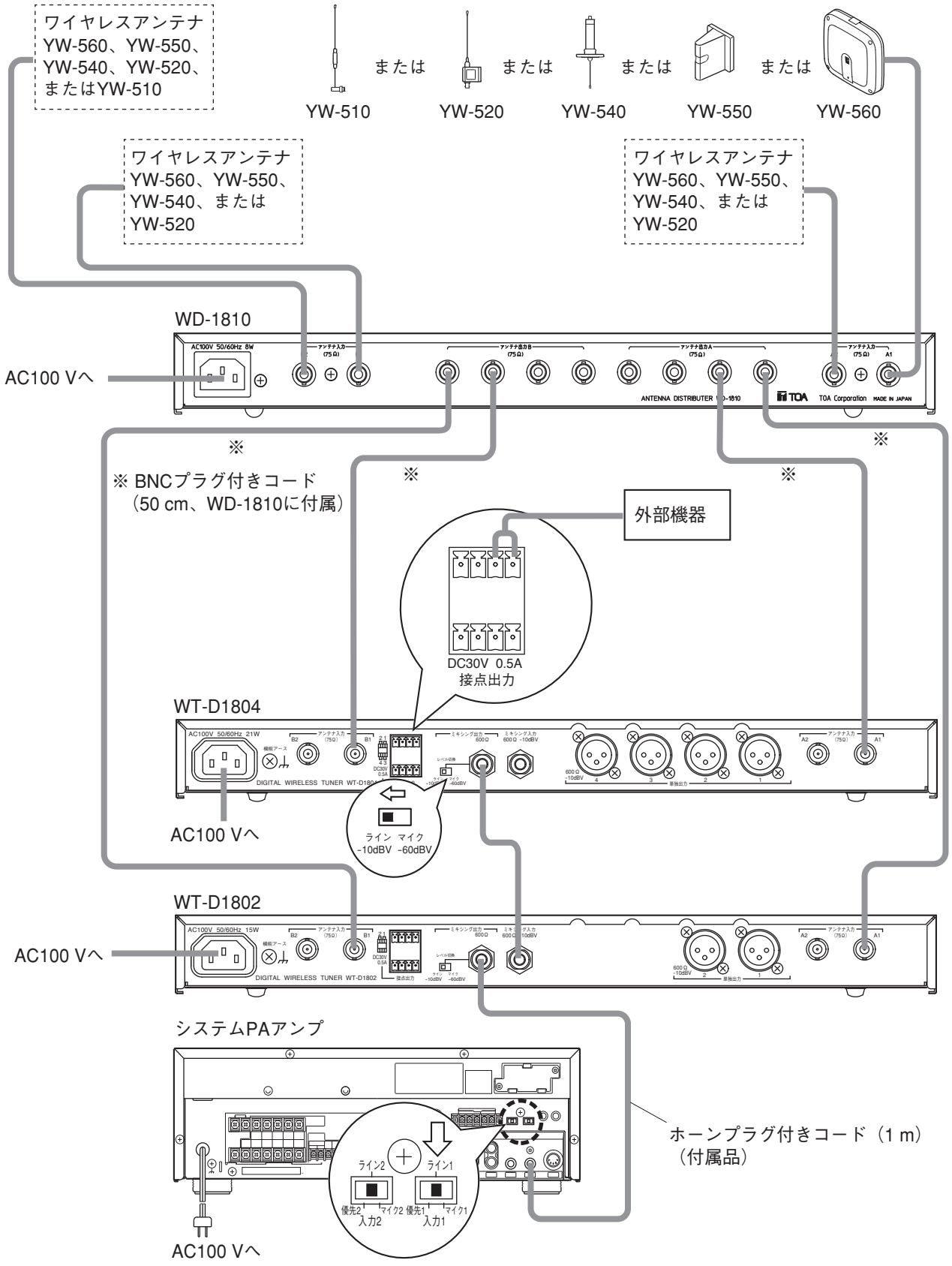
■ アナログワイヤレスシステムを使用する場合



ご注意

- 2本の受信アンテナのみ使用する場合には、必ずA、Bアンテナ入力コネクターに1本ずつ接続してください。
- YW-510 はAアンテナ入力、Bアンテナ入力にそれぞれ1本ずつまでしか接続できません。2本以上接続してもカバーエリアは広がりません。
- 詳細については、WT-1822、WT-1824 に付属の取扱説明書をお読みください。

■ デジタルワイヤレスシステムを使用する場合



ご注意

- 2 本の受信アンテナのみ使用する場合には、必ず A 系統、B 系統アンテナ入力端子に 1 本ずつ接続してください。
- YW-510 は A 系統、B 系統アンテナ入力端子にそれぞれ 1 本ずつだけ接続してください。2 本以上接続してもカバーエリアは広がりません。
- 詳細については、WT-D1802、WT-D1804 に付属の取扱説明書をお読みください。

アンテナアッテネータースイッチについて

本機はアンテナを 4 本まで接続できます。アンテナごとにアンテナアッテネーターを装備し、その感度を前面パネルのアンテナアッテネータースイッチで簡単に操作できます。
アンテナアッテネータースイッチの各ポジションと通達距離の目安は、下表のとおりです。
通常は「0 dB」の位置で使用します。「−6 dB」または「−20 dB」の位置に設定すると、ワイヤレスマイクの使用可能範囲は狭くなりますが妨害電波も受けにくくなりますので、近接使用のときの混信妨害を軽減することができます。
アンテナの系統ごとに設定できますので、特に妨害電波の到来方向がわかっている場合は、その方向に近いアンテナアッテネーターを操作してください。

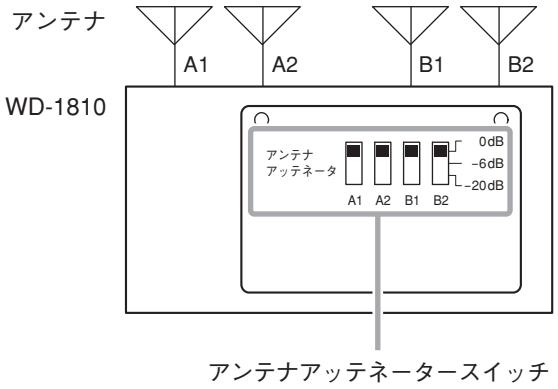
● 通達距離の目安（アンテナ 1 本あたり）

ポジション	0 dB	−6 dB	−20 dB
通達距離の目安（%）	100	70	20

※ ポジションが「0 dB」のときの通達距離を 100% としています。

ご注意

シンセサイザー方式のダイバシティワイヤレスチューナー WT-1822、WT-1824、WT-D1802、または WT-D1804 に搭載されているアンテナアッテネータースイッチの機能を併用すると、ワイヤレスマイクの使用可能範囲がさらに狭くなります。



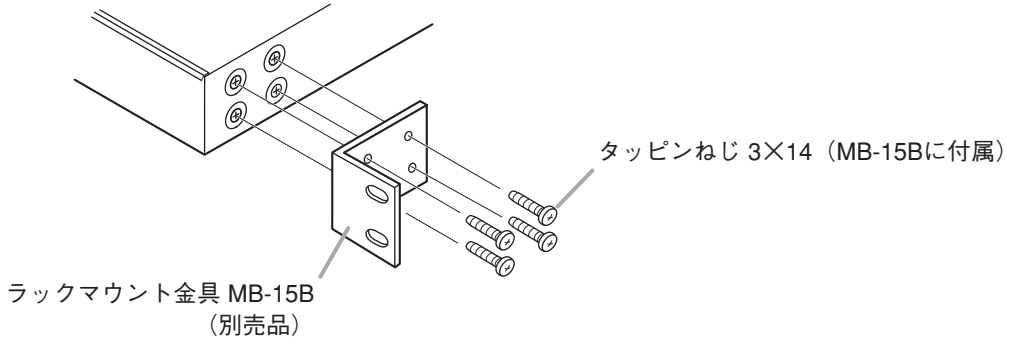
※ スイッチの並びは、後面パネルのアンテナの順番と対応しています。

ラックへの取り付けかた

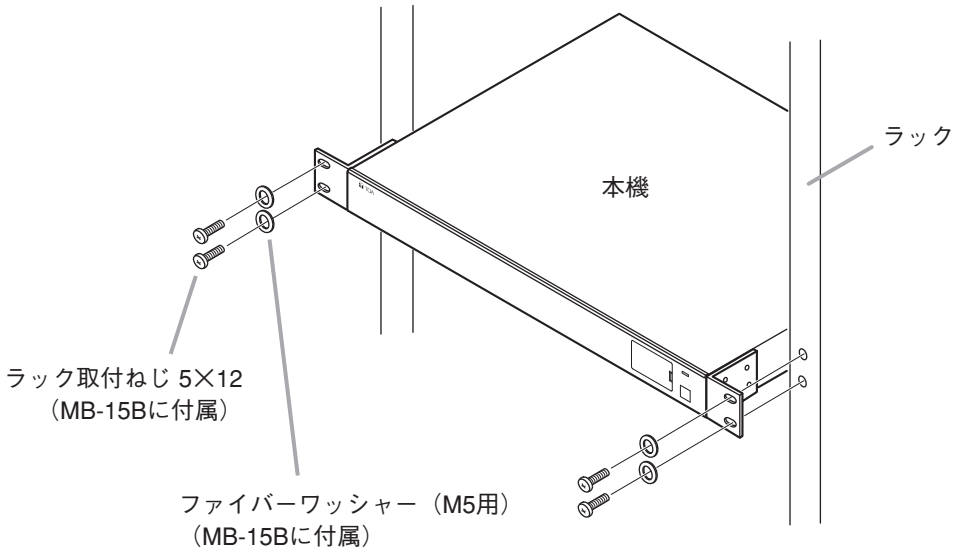
ラックに取り付けるときは、ラックマウント金具 MB-15B（別売品）を使用します。

1 **本機底面のゴム足を外す。**

2 **MB-15B に付属のねじで、本機の両側面に MB-15B を取り付ける。**



3 MB-15B に付属のねじで、本機をラックに取り付ける。



ご注意

MB-15B に付属のラック取付ねじ 5 × 12 は、当社のラック専用です。
他のラックには使用しないでください。

仕　様

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	8 W 以下
混合分配機能	2 入力混合・4 出力分配…2 系統
通過周波数帯域	806 ～ 810 MHz
アンテナ入力アッテネーター	0 dB/–6 dB/–20 dB、3 段階切り換え
入力	75 Ω、不平衡、2 回路…2 系統、 BNC ジャック（アンテナ供給電源、DC9 V 、最大 65 mA）
出力	75 Ω、不平衡、4 回路…2 系統、BNC ジャック
使用温度範囲	–10 ～ +50℃
仕上げ	パネル：アルミ、黒（マンセル N1.0 近似色）、3 分艶、塗装 ケース：表面処理鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）、塗装
寸法	420（幅）× 46（高さ）× 294（奥行）mm
質量	3.4 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

電源コード（2 m）..... 1
BNC プラグ付きコード（50 cm）..... 4

TOA

TOA お客様相談センター

商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。
受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）

フリーダイヤル **0120-108-117**
ナビダイヤル　0570-064-475（有料）
FAX　0570-017-108（有料）
※ PHS、IP 電話からはつながりません。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOA ホームページ　http://www.toa.co.jp/

133-07-153-3D